

継往開来

商業エリアの3駅には、今でも魅力的な建造物が多く見られ、江戸時代から続く老舗も多く、古いものを大切にしながら、新しいまちに変化し続けている。本提案では、それらの色味や素材感に加え日本らしさをそれぞれの駅に用いつつ、かつてのような閉塞された地下のイメージから、地上と一体感のある明るく新しい駅を創ることを目指す。

～情報発信の場として～
銀座線の商業エリアの3駅は統計的に見て若年層の利用者が比較的に少ない。
商業エリアには伝統的で魅力のある店舗が数多く並んでおり、それらを様々な年代の人々に知ってもらうためには、駅そのものが情報発信の場として活用されることが、望まれるのではないだろうか。

物語のユーザー像
銀座線沿線で働く30代キャリアウーマン。60代の母と日本橋で働く恋人がいる。



三越前駅プラットフォームイメージ

三越前周辺は、高級感漂う老舗百貨店や商業施設が多く、女性利用を考慮し明るく上質な雰囲気が感じられるデザインとした。駅周辺のアールデコ風のデザインを取り入れつつ、着物の柄や和紙などの日本らしさと明るくやわらかいデザインとした。

三越前駅 先日、母が大切にしていた着物を仕立て直してくれた。袖を通してみると、母がこの着物を着て、ふたりでこの駅を訪れた時のことがよみがえる。物を大切にする日本の心を母から教わった。早く着付を習い、今度は私が着物で来ようかな？そんな着物が似合う駅、三越前。



三越前駅改札イメージ



日本橋駅プラットフォームイメージ

長きに渡り人と人とを繋いでいる日本橋。その日本橋の橋桁を見立てたなぐりの円柱や天井の板張りで表現したり、フロア照明で天井に水面を表現する演出照明を計画した。明るく女性的なデザインの三越前に対し、日本橋側はビジネスマンのイメージが強く、シックで落ち着いた男性的で力強いデザインとした。

日本橋駅 江戸時代より、日本橋は日本の中心だ。今では日本を代表する金融街、たくさんの老舗、問屋街など、ここには様々な人が働いている。ここで働く人の多くは、こだわりがあり、洒落者で、粋な男たちである。「故きを温ね新しきを知る」そんな大人達から多くを学び、彼も一流のビジネスマンを目指している。そんな男たちが似合う駅、日本橋。



日本橋駅改札イメージ

京橋駅 この駅は東京駅や銀座にも近くとても便利な駅だ。任されているプロジェクトもやっとひと区切りがつき、金曜の夜は、メンバーと銀座で打上げ！銀座寄りの明るい方の階段を進み、改札の先の吹き抜けからは、まだほのかに明るい空が見える。夜はこれから。そんな女性を元気にする駅、京橋。

京橋駅プラットフォームイメージ



京橋駅改札イメージ

銀座線全19駅の間、日本橋と銀座の間に位置する京橋駅。この場所を情報の発信地となるように、それぞれの場所へ促すような床や壁の意匠、柱型には江戸情緒の歴史を感じさせる格子を用い、柱の上部からは人々に元気を与えるビタミンカラーを間接照明で表現する。また、銀座寄りの床や壁面は明るく、日本橋寄りにはシックで落ち着いた仕上げにグラデーションで変化し、空間デザインで自分の位置がわかるようにした。